

自由研究の進め方

1

調べたい内容(きっかけ)を探そう

普段生活していると、「なぜ」「どうして」「なんでかね～」と疑問に思ったことはありませんか？それが自由研究の第1歩です。その疑問の種はどこにでもあります。動物や植物だけでなく、スポーツや歴史・文化など自分が好きなものから「なぜ」を探すのもいいかもしれません。

2

なぜを予想しよう

きっかけが探せたら次は、その「なぜ」を自分なりに予想してみましょう。インターネットを使えば答えがわかって便利ですが、なぜを予想しているときが一番ワクワクするし、大切です。予想したことは文章や絵でまとめておきましょう。

3

予想したことをどのように調べるか計画を立てよう

予想したことをどのように研究するのか、研究に必要なものを集めるためにはどのようにするのかを調べて計画を立てましょう。自由研究を行うときに最も大事なことは「安全」であるかです。研究は、家の中だけではなく、海や山などの自然の中でも行うことができます。例えば水場に行く場合ライフジャケットを着用する必要があるのか、調べたいものは素手で触っていいものなのか、自由研究を行う服装や装備もしっかり計画に入れましょう。

自分だけではなく大人の人と一緒に行動することも大切です。作った計画は必ず大人の人に読んでもらいましょう。

保護者の皆さまへ

子どもが立てた計画を読み、必要なものがあれば追加してみてください。

4

観察・実験をしよう

いよいよ計画に沿って観察・実験のスタートです！「安全」に気を付けましょう。もしかすると予想通りにはいかず、色々なことが起こるかもしれません。でも、それも含めて「自由研究」です。忘れずに記録をとりましょう。記録の取り方は、写真や動画もありますがメモも有効です。その時の「気持ち」や「考え」を書いておくと、まとめをするときに思い出しやすくなります。

5

観察・実験の内容をまとめよう

観察、実験はどうでしたか？観察、実験を一生けん命頑張ったと思いますが、あとひと踏ん張りです！いい観察・実験でもしっかりと「まとめること」が大切です。なぜ、大切かというと自分の研究を他人に見せるだけでなく、客観的に自分の研究を見ることができるからです。文章以外にも絵や写真、動画などを使うと分かりやすくなりますよ。

まとめ方にもいろいろな方法があり一例をあげると次のようになります。

まとめ方の種類

掲示型…新聞記事のようにまとめる方法。紙の大きさも自由に選ぶことで表現方法が広がります。また、ポスターのように大事なことを抜き出してまとめる方法もあります。
ICT型…パワーポイントやスライドを活用してまとめる方法。動画も使うことができますよ。

ブック型…スケッチブックやノートにまとめる方法。そのほかに、リーフレットやパンフレット等もあります。
工作・標本型…調べたことを工作や標本にしてまとめる方法。作成の過程も載せるといいですよ。

参考文献について…図鑑や本などから他の人の文章や写真を使うときは、最後に「引用文献」「参考文献」を載せましょう。

文(8ページ9ページ)：糸満市立西崎小学校 教諭 徳田安彦 ※中央図書館コーナー除く。

参考文献：「All About 暮らし」

引用文献：「まるちゃん名言集」

まとめに必要な内容

- 1 研究タイトル
- 2 作成年月日、名前
- 3 調べたきっかけ
- 4 予想
- 5 調べる方法・計画
- 6 調べている様子
- 7 結果
- 8 振り返り(感想や次への疑問)

夏休みは中央図書館へ行こう!!

自由研究が苦手なら、まずはテーマを決めてみませんか？テーマってなに？どうやって探したらいいのかわからない…そんなときは図書館の出番です！
図書館には、いろんな本がたくさんあります。きっとヒントが見つかるはずです。自由研究に困ったら、ぜひ図書館にきてください。お待ちしております！

どんな本をえらべばいいかわからない時

パスファインダー



無料で配っています

ダウンロード
はこちら



調べものをお手伝いするヒントや役に立つ本・情報が書かれているよ！

特集 7/15(金) ▶ 9/1(土)

夏休み！
宿題のヒントみつけよう！
自由研究・自由工作

自由研究のヒントがほしい時

自由研究の本



特集コーナー
やっています！

「自由研究」は自由だー！

この夏、共通の課題に取り組み、新しい発見の喜びを親子で共有してはいかがでしょうか？

私は、西崎小学校で5年生に理科を教えています。ある日のこと、メダカが生まれるためには「受精」を行う必要があるという学習を行っているときに、子どもたちから「メダカにも双子ってあるのかな」という質問を受けました。私が全く予想していなかった考えだったので、子どもたちの柔軟な思考に驚きを受けました。子どもたちは4年生の保健の学習でヒトが生まれる過程を学んでいるので、今回のメダカの誕生の学習と繋がったのだと思います。子どもたちのこれまでの学びが、新しい学びへ繋がった瞬間です。私たち人類は、このように興味を抱き、学びを繋げて発展してきたと思います。

「宇宙で最も力強いのは幅広い興味である」この言葉は、アインシュタインが話したと伝えられています。今皆さんの様々な「当たり前」は、人類の「興味」から生まれたと知っていますか？例えば、「夜でも明るくしたい」「遠くまで速く走りたい」「空を飛んでみたい」「などそれは「電灯」「自動車」「飛行機」等形を変えて当たり前のように私たちの前にあります。このように、興味は人々の心や暮らしを豊かにしてく

れます。学校は、その入口だと私は思います。そこから興味を持ち、思いっきり「なぜ、どうして」と自由に考え、答えを見つけてみてはいかがでしょうか？

保護者の皆様におかれましても普段なかなか時間をとるのは難しいと思います。しかし、お子様の自由な発想や成長した姿を見られる貴重な時間だと思いませんか。ついつい子どもよりも、大人のほうが盛り上がりすぎてしましますが(笑)ぜひ、子どもを見守ってください。子どもだけでは調べる範囲が狭いので、大人として物事を俯瞰してみることでも子どもの視野が広がる手助けをお願いします。



糸満市立西崎小学校
とくだ やすひこ
徳田 安彦 先生